

# 平成30年度 指定管理者評価シート

所 管 課	福祉部 地域福祉課
評価対象期間	平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日

## 平成30年度 指定管理者評価シート<1> 指定概要 (指定管理者によりご記入をお願いします。)

施設概要	名 称	川西市一の鳥居老人福祉センター
	所 在 地	兵庫県川西市長尾町6番17号
	設置目的	老人の健康の増進、教養の向上等を図る
利 用 料 金 制	<input checked="" type="radio"/> 非利用料金制 ・ <input type="radio"/> 一部利用料金制 ・ <input type="radio"/> 完全利用料金制	
指定管理者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所 在 地	兵庫県川西市火打1丁目12番16号
指定管理業務の内容	<p>※ 指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <p>(1)老人の生活相談に関すること。            (2)老人の健康相談に関すること。            (3)老人の教養の向上のための講習会、講演会等の開催に関すること。            (4)老人のレクリエーションのための便宜供与及び老人クラブ活動の推進に関すること。            (5)老人の機能回復訓練に関すること。            (6)施設使用の許可、その取り消し、その他のセンターの利用に関すること。            (7)施設及び付属設備の維持管理に関すること。            (8)その他、市長が必要と認める業務に関すること。</p>	
指定期間	平成29年4月1日 ～ 平成34年3月31日	

A	優	良
B	良	好
C	課	題 含
D	要	改 善

施設名	川西市一の鳥居老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成
①法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	設置目的である老人の健康増進を図るため「グラウンドゴルフ」の教養の向上を図るため「絵手紙」を実施しました。また、カラオケ等の趣味の会27グループの活動を支援しました。健康相談は、健康講座開催時に講師の保健師等が講演後、参加者からの相談を受けています。	A	心身の健康増進を目的とした多様な趣味グループの活動支援、保健師等の専門職による健康相談の実施など、施設の目的に応じた運営が行われています。	意見なし
②利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	A	身分を証明する書類を提示していただき、施設利用の説明をして登録手続きを行っています。また、趣味の会への参加希望があれば随時見学をしていただいています。	A	初回利用時に身分証明書を確認し、利用手続きを進めるとともに、趣味の会を紹介するなど、適切な方法がとられています。	意見なし
③施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。	A	センター主催の講座や文化祭等の開催時には、利用者増に繋がるよう施設内掲示や市広報紙に掲載するとともに、地元自治会にチラシを配布するなどしてPRに努めました。また、文化祭の発表・展示について、J-COMの取材を受けました。	A	利用者増につながるような各種のPR活動やケーブルテレビ局の取材を受けるなど、施設の周知広報活動を行っています。	意見なし
< 課題 >		近年、高齢化による体調の変化等により利用人数は、減少傾向にあります。		引き続き広報活動を周知し、新規利用者の獲得の検討が必要です。	意見なし
< 改善内容 >		利用者ニーズに沿った講座を開催するなど利用者増に努めるとともに、最寄り駅からの来館経路の問い合わせが多かった「健康講座」の開催時には、職員が途中の道に立ち案内しました。また、内部監査を継続し、法令遵守に努めます。		問い合わせに対して適切な対応をとるなど、利用者優先の対応が取られています。引き続き利用者の蔵に努めてください。	意見なし
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況
①施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	個人利用者については、健康器具や入浴サービスを利用することで健康増進に繋がっています。趣味のグループについては、活動を通じて、交流や親睦を図るなど施設目的に沿って有効に活用されています。	A	健康機器の設置や入浴を通じて、健康増進を図る場として適切に機能しています。さらに趣味グループの活動支援を通じて、利用者の教養向上を図る場として、有効に機能しています。	意見なし
②施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	A	過去に開催し、人気の高かった「歴史講座」を3回開催しました。	A	要望の多い講座を開催するなど、利用者増に向けた取り組みが図られています。	意見なし
< 課題 >		特に老朽化に伴う浴場、空調設備の配管修繕が発生した場合、事業中止せざるを得なく利用者減に直結します。平成30年度は、漏水等により13日間入浴事業を中止しました。		施設の著しい老朽化により、入浴事業が中止になるなどサービスの低下がみられます。	意見なし
< 改善内容 >		利用者ニーズに沿った講座を開催するなど利用者増に努めます。設備の老朽化による修繕については、市と協議をして計画的に進めていきます。		施設の老朽化に伴う大規模修繕については、市と協議しながら適時進めてください。	意見なし
(1-3) 利用者の満足度	A		A		(1-3) 利用者の満足度
①利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	各種講座の開催時に年5回実施しました。また、文化祭の開催時期がセンターの耐震等工事と重なったため、趣味の会グループに開催の有無のアンケートを実施しました。	A	必要に応じてアンケートを実施するなど、利用者の意向を確認する体制がとられています。	意見なし
②利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	センターの耐震等工事と重なった文化祭の開催の有無のアンケートの結果、時期を変更して実施の希望が多かったため、準備期間が短かったが趣味の会グループの協力を得て、8月に開催できました。	A	利用者の意向に対して、文化祭の時期を変更するなど、利用者と思慮通を図りながら柔軟な対応が取れています。	意見なし
③利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	苦情や要望に対しては、職員間で共有し、内容により本部及び市担当課と相談し、迅速に対応しています。平成30年度は、苦情はありませんでした。	A	職員間での情報共有など、適切に対応しています。	意見なし
④アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	利用者からの要望等がお聞きできるように意見箱を設置しています。平成30年度の投函はありませんでした。また、日頃より職員から声掛けをするなど利用者の声を聴くよう心がけています。	A	苦情に上がる前に声掛けるなど、日ごろから利用者とのコミュニケーションをとっておられる姿勢は評価できます。	意見なし
⑤サービスの質を向上させるため具体的な取組みを行ったか。また、取組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	趣味のグループの「茶道」において高齢化等により会員数が減少していたため、「茶道講座」を開催しました。結果、3名の講座参加者がグループ加入されました。	A	講座参加者の減少に対して、講座を開催するなど利用者増の取り組みを進めています。	意見なし
< 課題 >		センター主催の講座は、募集人数の関係上、2階大広間で実施しています。2階へ上がるには階段しかないため、ご不便をかけています。		特になし。	意見なし
< 改善内容 >		従来から課題であった男女共用トイレ、和式便座が、市の工事によって改修され、抵抗なく利用できるようになりました。		特になし。	意見なし

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市一の鳥居老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)					
2 効率性の向上に関する取組み【効率性】	A		A						2 効率性の向上に関する取組み【効率性】
(2-1) 経費の節減	A		A						(2-1) 経費の節減
① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	空調機(電気・ガス)の使用時は、温度設定(夏28℃、冬20℃)を守っていただくよう利用者に依頼しています。 また、利用に影響のない範囲で蛍光灯の間引きなどの節電に努めています。	A	利用者のご理解・ご協力を得ながら水道光熱費の節減に取り組んでいます。					意見なし
② 管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	入浴設備については、メーカーメンテとしていますが、その他の業務委託や修理、物品購入については、見積もり合わせを行い、常に経費節減を意識して取り組んでいます。	A	可能な限り複数業者との相見積もり行う等、経費節減に努め、適切な運営をしています。					意見なし
<課題>		築43年が経過しており、建物・設備が老朽化しています。特に入浴設備、空調設備の配管の老朽化により、いつ、どこで漏水するかわからない状態です。今後、照明器具の更新時には、経費節減になるようLED照明に変更する必要があります。		事業休止につながる突発的不具合が生じないよう、計画的な対応をとる必要があります。					意見なし
<改善内容>		修繕の必要な内容については、市の公共施設の修繕計画に盛り込んでもらえるよう資料提出をしています。		老朽化による修繕必要個所の把握に努め、可能な限り計画的な改修計画の実施に努めてください。					意見なし
(2-2) 収入の増加	評価なし		評価なし						(2-2) 収入の増加
① 収入を増加させるための具体的な方法の検討や取り組みを行ったか。									
② 収入の増加など取り組みの効果が得られたか。									
<課題>									
<改善内容>									
(2-3) 収支のバランスなど	評価なし		評価なし						(2-3) 収支のバランスなど
① 収支のバランスは、適切であったか。									
② 費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。									
③ 収支の内容に不適切な点はなかったか。									
<課題>									
<改善内容>									

A	優	良
B	良	好
C	課	題 含
D	要	改 善

施設名	川西市一の鳥居老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A		A		3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	
(3-1) 管理運営の実施状況	A		A		(3-1) 管理運営の実施状況	
①法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	臨時職員(常勤2名、非常勤2名)の配置で管理運営を行っています。	A	人員配置は適切です。	意見なし	
②法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	会計職員が、2回(内部1回、県社協主催1回)の会計、契約事務研修に参加しました。また、センター主催の講座に職員も入ることにより、利用者からの相談に役立させています。	A	業務に改善に直接関係する研修などに積極的に参加しています。	意見なし	
③経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	修繕等については、相見積もりをとり安価な業者を選定し、予算内で適切に行っています。耐震工事等により2か月間休館(11月、12月)となりましたが、4月に趣味の会の代表者会議を開催し、早期からの案内を行いました。	A	修繕の実施に当たっては、極力複数業者から見積もりを取るなど、適切に運営しています。また、設備を使用する際は、利用者の協力も得ながら光熱水費の節減に取り組んでいます。	意見なし	
④施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	靴のトラブル防止のため、下足箱を個人利用者とグループ利用者に分けました。また、転倒などの事故防止のため、2階の部屋を利用する場合のスリッパ履きを廃止しました。	A	高齢者の転倒は予後に大きな影響を与えることから、柔軟に対応される点は、評価できます。	意見なし	
< 課題 >		老人福祉センターに関する研修参加の場が少ない状況です。		特になし。	意見なし	
< 改善内容 >		社協の研修計画に基づき、積極的に研修に参加していきます。		特になし。	意見なし	
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	
①法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	初回利用時に運転免許証等で本人及び利用条件の確認を行い登録していただいています。内部監査における他施設の指摘事項も職員間で共有し、改善に繋がっています。	A	身分証などで本人確認を実施するなど、適切な手続きがとれている。また、内部監査の内容も職員間で情報共有を行うなど、業務改善に努めています。	意見なし	
②施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	個人情報については、施錠できるロッカーに保管するなど適切な取り扱いを行っています。	A	個人情報を鍵付きの保管庫に入れており、適切に取り扱っています。	意見なし	
③日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	センター内はスリッパ履きとしていましたが、階段で滑る利用者が見受けられるため、2階の部屋を使用する利用者には、スリッパ履きを廃止し安全対策を講じました。	A	大きな転倒事故が発生する前に、予防的に措置を講じるなど、適切に対応できています。	意見なし	
④防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	夜間、休日等閉館時間外は警備会社に委託しています。防災は、年2回の消防訓練を行い安全対策に努めています。	A	防犯対策として警備会社に業務委託したり、防火訓練を年2回行うなど、有事に備えた危機管理体制を敷いています。	意見なし	
⑤事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	事故発生時には、事故発生時マニュアルに基づいて対応しています。火災時には、避難誘導計画に基づいて対応します。	A	緊急事態に備えてマニュアルを作成しており、非常時に適切な対応ができるような仕組みが整備されています。	意見なし	
⑥利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。	A	趣味の会のグループには、利用更新の登録申請時に「使用に関しての要項」等を代表者に説明し理解を得ています。健康器具を使用する個人利用者には、独占とならないよう1回の使用時間を決めています。	A	平等な施設利用を達成するために説明会を行っており、適切な配慮がされていると言えます。	意見なし	
⑦利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。		非該当				
< 課題 >		入浴者数の減少傾向に伴い、浴場内で1人の時間が増えてきている状況です。長時間の入浴者など職員が可能な範囲で浴場を確認していますが、1人入浴時の事故の発見遅れが懸念されます。		入浴中の事故は重大な事態を招くことが予想されるため、利用者のプライバシーに配慮しつつ、早急に業務見直しを実施してください。	意見なし	
< 改善内容 >		スリッパ使用により階段で滑る利用者が見受けられるため、耐震工事期間中に下足箱等の配置換えを行い、2階の部屋を使用する利用者のスリッパ履きを廃止し安全対策を講じました。		転倒に対する予防的な対応を取られるなど、適切な安全体制を敷いておられます。	意見なし	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市一の鳥居老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分			指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】			指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
総合評価			指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】			指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価ランク	A			A				
・評価できる内容	健康増進を図るため「グラウンドゴルフ」の教養の向上を図るため「絵手紙」の定期講座を開催しました。これにより、「グラウンドゴルフ」の講座生は、自主的に趣味のグループとして活動を始められ、「絵手紙」の講座生は、平成31年度から趣味のグループとして活動を始められます。趣味のグループの「茶道」において高齢化等により会員数が減少していたため、「茶道講座」を開催しました。結果、3名の講座参加者がグループ加入されました。最寄り駅から当センターまでの行き方が判らないとの問い合わせが多かった講座開催時に職員が駅からの誘導を行いました。		定期講座から趣味グループにつなげ、さらに講座参加者を増やすための柔軟な取り組みなど評価できます。また、駅からの案内など利用者の特性に応じた対応をとるなど、様々な取り組みをされておられます。				意見なし	
・平成30年度に改善した内容	センター内はスリッパ履きとしていましたが、階段で滑る利用者が見受けられるため、2階の部屋を使用する利用者には、スリッパ履きを廃止し安全対策を講じました。また、靴の履き間違え等があるため、下足箱を個人利用者とグループ利用者に分けました。		施設内の状況を把握し、利用者の安全を優先した対応を取られる点については評価できます。				意見なし	
・平成30年度に改善したことによる効果	2階利用者のスリッパ履きを廃止したことにより、転倒等の危険性が軽減されています。また、下足箱を個人利用者とグループ利用者に分けたことにより靴のトラブルがなくなりました。		事故が起きる前に予防的に点灯対策を実施。靴の間違いなど利用者間の不要なトラブルを防ぐ対策を取られるなど、利用者本位の運営に努められています。				意見なし	
・問題があり次年度以降改善が必要な点	築43年が経過しており、建物・設備の老朽化が著しく、入浴及び空調設備の更新または修繕をする必要があります。また、気象警報が発表されている時の対応として、現在は、自主事業は中止していますが、個人利用者及びグループ利用者はそれぞれの判断で利用されています。利用者の安全のため気象警報発表中は休館とするなどの対応が必要です。		施設の老朽が著しく、入浴サービスの中止など事業に影響が出ています。また、警報発令時などの安全対策を含めて、今後統一した対応の検討をお願いします。				意見なし	
・改善方法とその時期	修繕等については、市と適宜協議しながら検討します。気象警報の発表時の施設利用については、利用者の安全を第一に適切な対応がとれるよう、平成31年度に市と協議します。		未然に不具合個所の把握に努め、計画的な修繕が可能となるように、適時市と協議しながら検討してください。				意見なし	

【記入上の留意点】

(1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。

(2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。